

登録No. S-056
 登録名 Weekly PAC/HER療法
 催吐性リスク 軽度
 適応疾患 乳癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	ファモチジン デキサメタゾン マレイン酸カルフエニラミン 生食	20mg/body 6.6mg/body 5mg/body 100mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	30min	
Rp.2	パクリタキセル 生食	80mg/m ² 250mL/body		d1・d8・d15	d.i.v.	60min	粘調度高いため、輸液総量の1.5倍量をDrip-eyeに設定
Rp.3	トラスツズマブ 生食	初回4mg/kg 2回目以降2mg/kg 250mL		d1・d8・ d15・d22	d.i.v.	初回90min。忍容性良好であれば2回目以降30minまで短縮可	休薬なし。

1クールの間 4週間
 その他（副作用・PS規定等）

パクリタキセル投与前H₂blocker、デキサメタゾン、マレイン酸カルフエニラミン投与
 副作用：骨髄抑制、心毒性、神経毒性
 パクリタキセル初回投与時、心電図モニター
 メンブランフィルター（0.22 μm）付きDEHPfreeの輸液セットを用いて投与。
 PS2まで
 ドーズダウン規定：WBC2500/mm³以下、好中球1000/mm³以下、Hb低下
 原則禁忌（慎重投与）：重篤な心障害のある患者
 infusion reactionがみられた際は投与中止。
 （再開時期について特に規定はないが臨床症状をよくみて症状が軽度なら継続投与可能。）
 infusion reactionは解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、重症時はO₂投与、ステロイド。
 心機能障害ある際は慎重投与。